

## 2014年度 情報部会総括

### 1 全体総括より（関係分を抽出）

#### ◆総括・評価表

3	情報部会	2		
1	部会運営について	1 4		
2	活動について（連携だよりの発行、HPの管理運営、連携会議の記録）	1 3	1	
3	努力目標について（各校実践の集約・交流）	1 3	1	

#### ◆課題と改善方法

- ・学校の取り組み交流について必要でしょうか？紙面交流でいいのではないかと感じます。
- ・実践を語るとボリューム大になるのは当然かもしれませんが、各校からの交流は話が長いです。
- ・予算要望のとりくみ資料の収集と交流を情報部会で行いましたが、内容は財政部会と重なるところでもあるので（要望書のとりまとめは財政？）、このことに限りませんが業務量を考慮して分担を明確にしていきたいです。

#### ◆各部会にとりくんでほしい内容・課題

- ・予算要望のとりくみについて交流がなされました。予算要望は通年を通した事務職員の主たる職務内容なので、それぞれの考え方を聞いて自分に生かす・自分を高めることにつながらればいいと思います。

#### ◆再編施行1年間のとりくみを行っての反省点・改善点などご意見を

- ・各部会、事務局の努力目標に関わるとりくみについて、とりくみが予算要望に関わることに集中してしまい、また部会の活動とも重なってしまった。また内容についても研修的な内容であり、これらについては市教研事務班研修（または上事協ブロック研など）で行っていった方がすっきりするのではないかと。（もちろん研修で合意がなされたことを連携会議として行っていくことについては異を唱えるところではありません）

### 2 部会総括

以上の個人総括を受け、情報部会として以下の通り総括します。

#### ◇活動計画

- 1 学校間連携だより「ふらーぬい」の発行
- 2 HP「ふらーぬい」の運営
- 3 連携会議の記録（記録資料保管を含む）
- 4 各校の実践（地域実践・地域情報含む）の集約、交流を実施する

#### ◇活動計画に関する総括

- ・学校間連携だより「ふらーぬい」の発行について

⇒ 4名のメンバーが定期的（連携会議開催後）に、連携会議の内容報告を含め作成・発行。人事異動による教職員の入れ替わりなども前提に、「富良野市学校間連携会議」の富良野市における位置づけや具体的活動内容、そして教職員にかかわる情報提供などを中心に今後も継続していく。

また、連携会議報告ではなく、タイムリーに知らせたい内容を季節号的なものとして発行することも検討していきたい。

・HP「ふらーぬい」の運営

⇒ 今年度中途から2人体制ですすめることができ、スムーズな更新が進められている。内容的にまだ完成していないコンテンツ（連携会議の概要）があることから、現行の作業を維持しつつ作業をすすめていきたい。

・連携会議の記録（記録資料保管を含む）

⇒ 連携日より「ふらーぬい」の発行担当者を記録担当を兼ねすすめ、記録についてはHP上に蓄積している。今後もこれまで同様にすすめていきたい。

・各校の実践（地域実践・地域情報含む）の集約、交流を実施する

⇒ 努力目標としての「各校の実践の集約、交流」については、今年度「予算要望書の作成にかかわるとりくみ」「事務日より実践」（3月実施）の2点を掲げすすめてきた。

□予算要望書の作成に関わるとりくみ

各学校のとりくみについて集約・データ保管・交流をすすめてきたが、こちらからの周知不足による交流内容の相違や、実践時期が9～10月ということから、交流するための時間不足などもあり、次年度に向けた課題となっている。

ただし、初年度ということもあり基本的に全学校の交流を前提としたが、次年度以降については集約内容・交流方法については、特徴ある実践の抽出や交流時間の短縮等を部会内で検討する中ですすめていきたい。あわせて、市教研学校事務班との役割分担も検討事項とする。

□事務日より実践

この部分については3月に集約、ホームページに実践の蓄積をすすめる。

◇その他

学校事務の富良野スタンダード確立に向け、当面、ひと的要素に重きを置いた情報発信としての「事務だよりの発行」と学校づくりアンケートとしての「子どもアンケート」を全ての学校がとりくむ状況・実態づくりが重要となっていることから、情報部会として今年度の努力目標とした「予算要望書の作成に関わるとりくみ」「事務だよりの実践」の実践交流については、次年度以降も継続した活動と位置づける中で、効率的かつ効果的な内容とすることが必要となっている。